

第24回全国障害者スポーツ大会「わたSHIGA輝く障スポ」
(身体(聴覚)障害の部、知的障害の部、精神障害の部)
バレーボール競技実施要領

1 競技規則

令和7年度(2025年度)に適用の全国障害者スポーツ大会競技規則(公益財団法人日本パラスポーツ協会制定)によるもののほか、この要領の定めるところによる。

2 チーム構成

全てのチームにおいて監督およびコーチが選手を兼ねる場合は、選手名簿に登録されていなければ選手として出場できない。この場合の選手人数は選手を兼ねる監督およびコーチを含めて12名以内とする。

(1) 身体(聴覚)障害の部

ア チームの構成は、監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、手話通訳者1名および選手12名以内とする。

イ 男女別にチームを編成する。

(2) 知的障害の部

ア チームの構成は、監督1名、コーチ1名、マネージャー1名および選手12名以内とする。

イ 男女別にチームを編成する。

(3) 精神障害の部

ア チームの構成は、監督1名、コーチ1名、マネージャー1名および選手12名以内とする。

イ 男女混合でチームを構成する。(試合中は少なくとも1名以上の女性プレイヤーが出場していなければならない。)

3 競技方法

(1) 試合は、身体障害(聴覚)の部(男女別)、知的障害の部(男女別)および精神障害の部ごとにトーナメント方式とし、3位決定戦を実施する。また、トーナメント戦以外に、交流戦を実施する。

(2) 全試合3セットマッチとし、2セットを先取したチームを勝ちとする。

(3) 1セット25点のラリーポイント制とする。(ただし、交流戦の3セット目は15点のラリーポイント制とする。)なお、得点が「24対24」(交流戦3セット目は「14対14」)の同点となった場合、それ以降は、2点リードしたチームをそのセットの勝者とする。

(4) 第3セットはいずれかのチームが13点(交流戦は8点)先取したときにコート交代を行う。

(5) 試合は、ワンボールシステムで行う。

(6) 設定時刻より早く試合を開始することはない。設定時刻を超える場合は直前の試合終了の10分後にプロトコールを開始する。ただし、連続試合となる場合は試合終了20分後にプロトコールを開始する。

4 服装等

(1) 背番号は、1番から12番までとする。やむを得ない場合は、1番から99番までとする。なお、チーム名、キャプテンマークおよび背番号等のサイズは、規定のものとする。また、ユニフォームに都道府県・指定都市名を表示すること。

(2) リベロプレイヤーを採用する場合は、他の競技者と明確に区別できるユニフォーム

を着用すること。

5 ネットの高さと試合球

(1) ネットの高さは、次のとおりとする。

- ア 身体（聴覚）障害の試合 男子2.43m、女子2.24m
- イ 知的障害の試合 男子2.30m、女子2.15m
- ウ 精神障害の試合 2.24m

(2) 身体（聴覚）障害および知的障害の試合球は、次の公益財団法人日本バレーボール協会検定球5号球（人工皮革・カラーボール）とする。

- ア 男子 モルテン製カラーボール（V5M5000）
- イ 女子 ミカサ製カラーボール（V300W）

(3) 精神障害の試合球は、日本ソフトバレーボール連盟公認球ソフトバレーボール球・糸巻きタイプ（モルテン製円周 78 ± 1 cm、重量 $210 \text{ g} \pm 10 \text{ g}$ ）（S3Y1500-WX）とする。

6 組合せ

組合せは、令和7（2025）年7月に開催するプログラム編成会議において、主催者が関係者立会いのもとに代理抽選を行い、決定する。

7 表彰式

表彰式は、競技終了後に競技会場で行う。

8 その他

- (1) 監督会議は、令和7（2025）年10月24日（金）行う。その場において申し合わせ事項を設けることができる。なお、監督会議の時間および場所については別途通知する。
- (2) ベンチには、選手、監督、コーチ、マネージャーおよび手話通訳者以外は入ることができない。なお、手話通訳者は、参加申込時に別に登録した者とする。
- (3) 監督、コーチ、マネージャー、手話通訳者は統一された服装を着用すること。
- (4) 監督、コーチ、マネージャーは規定の各章を左胸部につけることとし、未着用の場合はベンチに入ることができない。
- (5) チームスタッフ3名（身体（聴覚）障害の部のみ手話通訳者を含めた4名）とは別にトレーナーを帯同しているチームは、チームベンチエリア後方の決められた位置にトレーナー1名を待機させることができる。なお、トレーナーは参加申込時に登録した者に限る。このトレーナーは、実際に施術ができる者とし、公認パラスポーツトレーナーの有資格者であることが望ましい。
- (6) 競技場内へは、主催者の許可を受けた者以外は立ち入ることができない。
- (7) 身体障害の部は、タラフレックス（長尺弾性塩ビシート）コートで競技を行い、知的障害の部および精神障害の部は、木製フロアで競技を行う。
- (8) 練習球は、各チームで用意する。
- (9) 練習は定められた場所で安全に留意し、主催者の指示に従って行うものとする。
- (10) 荒天時ほか不測の事態が生じた場合の取扱いは、主催者において別途決定する。